

# JAMIA 2026 Annual Meeting

映像にふれる、映像でふれる



日本映像アーキビスト協会 (JAMIA) では、映像アーカイブに関する実務や課題について語り合う公開イベント「JAM」を実施します。本イベントは映像アーカイブの課題や今後の可能性をともに考え、協力しながら、ネットワークを広げることを目的としており、一般公開となって今年で3回目を迎えます。 JAMIA会員や映画・映像産業に携わる方はもちろん、学芸員、研究者、技術者、学生、そして映画や映像アーカイブに興味・関心のある全ての方々のご参加をお待ちしております。

日時

2026年7月11日(土)

10:50~18:00 [予定]

場所

日比谷図書文化館 地下1階  
日比谷コンベンションホール  
(大ホール)

※オンラインでの参加も可能です (申込時にご希望を選択できます)

料金

一般 = 3,000円 | 学生 = 1,000円

※オンライン参加も同料金

\*JAMIA会員 = 無料 (事前に年会費を振り込んでいただく必要があります。  
学生会員は年会費も無料です。)

申込

Peatixにて受付中!

<https://jam2026.peatix.com/>

JAMIAへの新規入会をご希望の方は、  
JAMIA事務局 (info@jamia.jp) へお問合せください。



**JAMIA**

The Japan Association of  
Moving Image Archivists  
一般社団法人

日本映像アーキビスト協会

日本映像アーキビスト協会 (JAMIA) は、映像アーカイブの実務者、研究者によるコミュニティです。

## JAM2026 Time Table

10:50 ベーシックガイダンス「フィルムの魅力とその表現」  
デジタルが主流となった現在も メディアとしてのフィルムの重要性は変わり  
ません。日々フィルムと向き合う現場の立場から、フィルムの基本と現場作  
業を紹介します。

登壇者: 阪上啓介 (株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス フィルムラボテクニシャン)

12:20 昼休憩

13:30 セッション①「実験映画、個人映画のアーカイブの未来を考える」  
実験映画の作家、技術者、キュレーター、アーキビストのそれぞれの立場から、  
これからの実験映画の保存活動について話します。

モデレーター: 石川亮 (映像作家)

登壇者: 太田曜 (実験映画作家)

南俊輔 (美術作家、映像作家)

瀧健太郎 (アーティスト、東海大学准教授)

松本圭二 (福岡市総合図書館 映像管理員)

15:10 ライトニングトーク 前篇 (3分×10組ほど予定)

16:00 セッション②「北から北へ」

災害の記憶から地域映像アーカイブの可能性を探る

東日本大震災から15年。北日本で活動する地域映像アーカイブの担い手たち  
を迎え、災害の記憶の継承や地域映像アーカイブの役割について考えます。

モデレーター: 戴周杰 (八戸工業大学感性デザイン学部 助教)

登壇者: 西海一紗 (スズレコードセンター プロジェクトリーダー)

小川直人 (せんだいメディアテーク 学芸員)

小倉学 (八戸クリニック街かどミュージアム 館長)

17:30 ライトニングトーク 後篇 (3分×10組ほど予定)

18:00 終了予定

19:00 懇親会\*

※全体のスケジュールは多少前後する可能性がありますので、  
ご承知おきください。

\*懇親会は事前申込の希望者のみ (定員あり)。

懇親会会費 (現地徴収) は、4,500円を予定しています。

開催  
内容

主催: 一般社団法人日本映像アーキビスト協会

賛助: 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス  
共進倉庫株式会社、株式会社シナノ企画  
東映株式会社 (五十音順)

◆イベントに関する問合せ先: JAM2026実行委員会 jamiaeventjam@gmail.com

\*イベントの最新情報はJAMIAのHP (<https://www.jamia.jp>) でご確認ください。